

薩摩半島西部におけるオキナワキンケビロウドカミキリの分布

金井 賢一*・福元 正範**・入田 隼一**・榎 俊輔**・東 哲治**

Distribution of *Acalolepta permutans okinawana* (Coleoptera: Cerambycidae) in the western part of the Satsuma Peninsula

Kenichi KANAI*, Masanori FUKUMOTO**, Junichi IRITA**, Syunsuke SAKAKI**, Tetuji HIGASHI**

キーワード：外来種, 指宿スカイライン, ヤツデ, 分布拡大

はじめに

オキナワキンケビロウドカミキリ *Acalolepta permutans okinawana* (以下本種) は, 中国大陸などに分布するキンケビロウドカミキリ *A. permutans* の沖縄島に生息する亜種である。2001年夏に福島県糸島郡志摩町の立石山からも本種が見つかり, 人為的に侵入したとされている(榎原, 2007)。鹿児島県では2007年に, 南九州市颯娃町と鹿児島市にまたがる千貫平公園で鮫島真一氏らが採集し, 周辺地域で分布を調査したが, 記録として発表されていない。本県における正式な記録は, 2013年に大坪博文氏が発表したものである(大坪, 2013)。

上記榎原によれば本種幼虫はフカノキ, リュウキュウハリギリ, タラノキ(ウコギ科), オキナワトベラ, トベラ(トベラ科)の生木を食害し, 成虫はフカノキおよびカミヤツデの生葉を後食するとあるが, 大坪は千貫平公園にてヤツデの葉から成虫を得ている。また, カクレミノ(ウコギ科)の葉も後食すると言われている(森, 私信)。

著者らは鹿児島県立博物館フィールドワーカー養成講座(以下FW)の昆虫班として, 2014年と2015年に本種を目的の一つとし, 合同で3回調査した。また福元, 金井は個人的にも調査を行った。薩摩半島全体の分布調査まで達していないが, 中間発表として記録を公開し, 本種分布調査の難しさをここに示したい。

なお, 今回の研究のために有益な助言をしていただいた森 一規氏に深く感謝する。

1. 研究の概要

調査は2014年と2015年の7月～8月に, 本種成虫を探索する方法で行った。徒歩または車で公園内や道路沿いのヤツデ, カクレミノ, タラノキなどを探し, 近寄って目視し, さらに叩きおとしや捕虫網でのすくい採りを行った。採集した個体は採集者が各自標本化した。

調査は主に3地域(千貫平地域, 知覧地域, 川辺地域: 図1)において, 以下の日程で行った。

- (1) 2014年7月21日 千貫平地域 (FW 講座: 金井・福元・榎・東)
- (2) 2014年7月26日 千貫平地域 (金井)
- (3) 2014年7月27日 千貫平地域 (FW 講座: 金井・福元・榎・東)
- (4) 2015年7月21日 川辺・知覧地域 (福元)
- (5) 2015年7月25日 知覧地域 (福元)
- (6) 2015年8月2日 千貫平, 知覧, 川辺地域 (FW 講座: 金井・福元・榎・東・入田)



図1. 採集地の位置(概略)

詳細な場所は, 調査結果の項目で示す。

* 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

** 鹿児島県立博物館フィールドワーカー養成講座

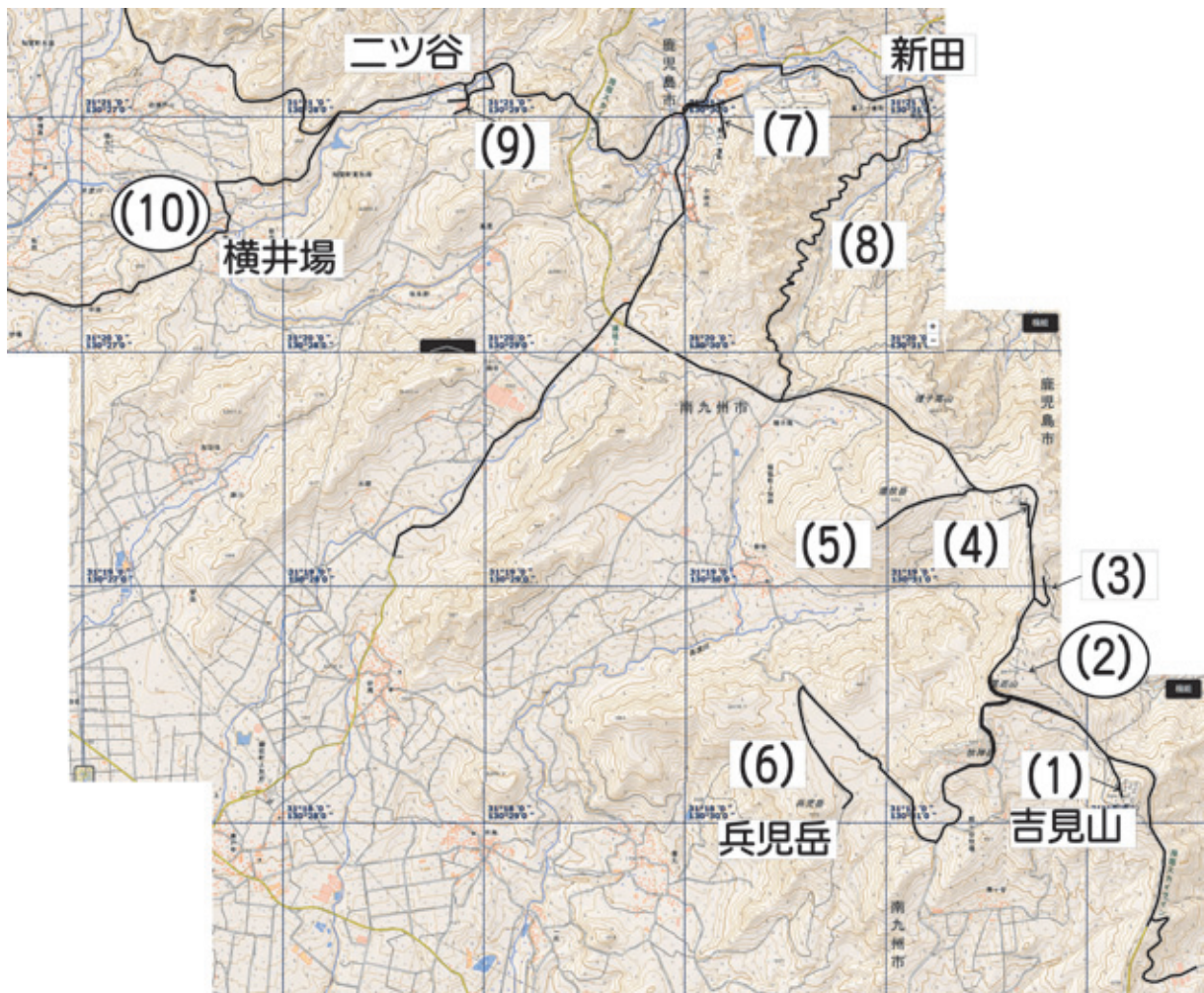


図2. 千貫平地域の調査地

地図内の黒線は、徒歩や車で移動しながらヤツデなどを探した道を示す。()内の数字は、本文の調査地に相当し、○で囲った場所では本種が見つかった。

地理院地図 (<http://maps.gsi.go.jp/>) を加工して作成。

2. 調査結果

3地域ごとに、調査地とその結果を示す。

2.1 千貫平地域 (図2)

当初本種が発見された地域として、重点的に調査した。

(1) 吉見山風力発電所：道沿いタラノキ少量生える。

・2014年7月27日：発見出来ず

(2) 千貫平公園：敷地内にヤツデ (少なくとも16本), カクレミノが多数生える。

・2014年7月21日：1♂採集1頭目撃 (福元), 2♂採集 (榎), 1♂採集 (東)

・2014年7月27日：発見出来ず

・2015年8月2日：発見出来ず

(3) 尾巡山を降りる林道：ヤツデ少数。

・2014年7月21日：発見出来ず

・2014年7月27日：発見出来ず

(4) 県漁業無線送信所：道沿いにヤツデ・カクレミノが多い。

・2014年7月21日：発見出来ず

・2014年7月26日：発見出来ず

・2014年7月27日：発見出来ず (センノキカミキリ1頭採集：福元)

・2015年8月2日：発見出来ず

(5) 唐牧岳風力発電所：道沿いにカクレミノ, タラノキが少量生える。

・2014年7月21日：発見出来ず

(6) アグリランドえい～兵児岳風力発電所：道沿いにヤツデ5本以上・タラノキが少量生える。

・2014年7月27日：発見出来ず

(7) 喜入町一倉（鹿児島市観光農業公園）の林道：道沿いにヤツデが少量生える。

・2014年7月21日：発見出来ず

(8) 種子尾から新田までの林道：スギ林でヤツデが2本しか見つからなかった。

・2014年7月26日：発見出来ず

(9) 知覧町二ツ谷：道路脇にタラノキ10本植栽

・2014年7月21日：発見出来ず

・2014年7月27日：発見出来ず

(10) 知覧町横井場：道路沿いスギ林の林床にヤツデ4本生える。

・2014年7月27日：1♂採集（福元）（センノキカミキリ1頭採集：東）

2.2 知覧地域（図3）

2015年に福元が指宿スカイライン沿いに本種を発見し、近隣のヤツデを対象に探索した。

(11) 指宿スカイライン知覧IC手前：ヤツデ13本を観察。

・2015年7月21日：1♂採集（センノキカミキリ1頭目撃）（福元）

・2015年7月25日：発見出来ず（センノキカミキリ1頭目撃）（福元）

・2015年8月2日：発見出来ず（センノキカミキリ1頭採集）（福元）

(12) 知覧カントリークラブ沿い：スギ林の林床にヤツデが多数生える。

・2015年8月2日：2♂（金井）3♂1♀（入田）採集

2.3 川辺地域（図3）

(13) 川辺峠周辺

・2015年7月21日指宿スカイライン：ヤツデ5本。発見出来ず。

・2015年8月2日国道：ヤツデ見つからず。発見出来ず

(14) 川辺峠～火の河原：スギ林内にヤツデ2本、集落にタラノキ多数植栽

・2015年8月2日：発見出来ず

3. まとめと考察

今回の調査において、本種の発見は困難であることが分かった。

本種は複数個体で1本の食餌植物を食害し、衰弱したところで産卵する性質を持っているらしい（森、私信）。今回の調査でも道路沿いに20本程度ヤツデが生えているエリアで、1本のみ食害を受けている場面に

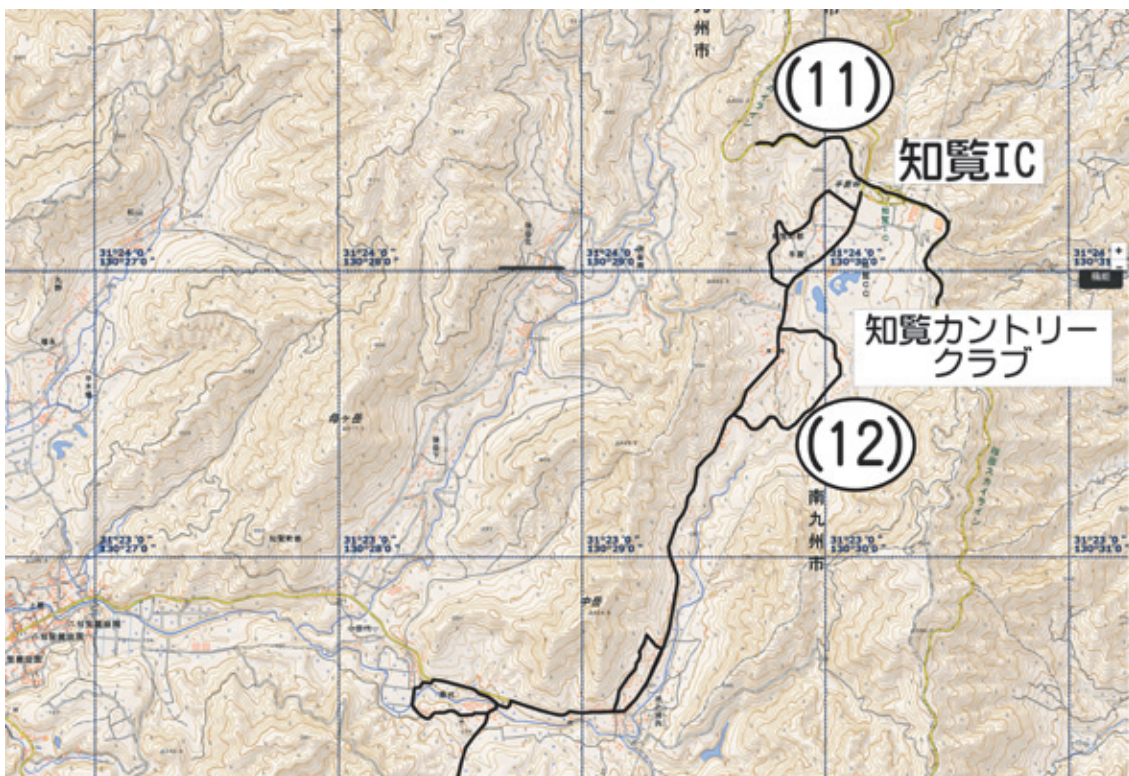


図3. 知覧地域の調査地 図2の説明と同様。

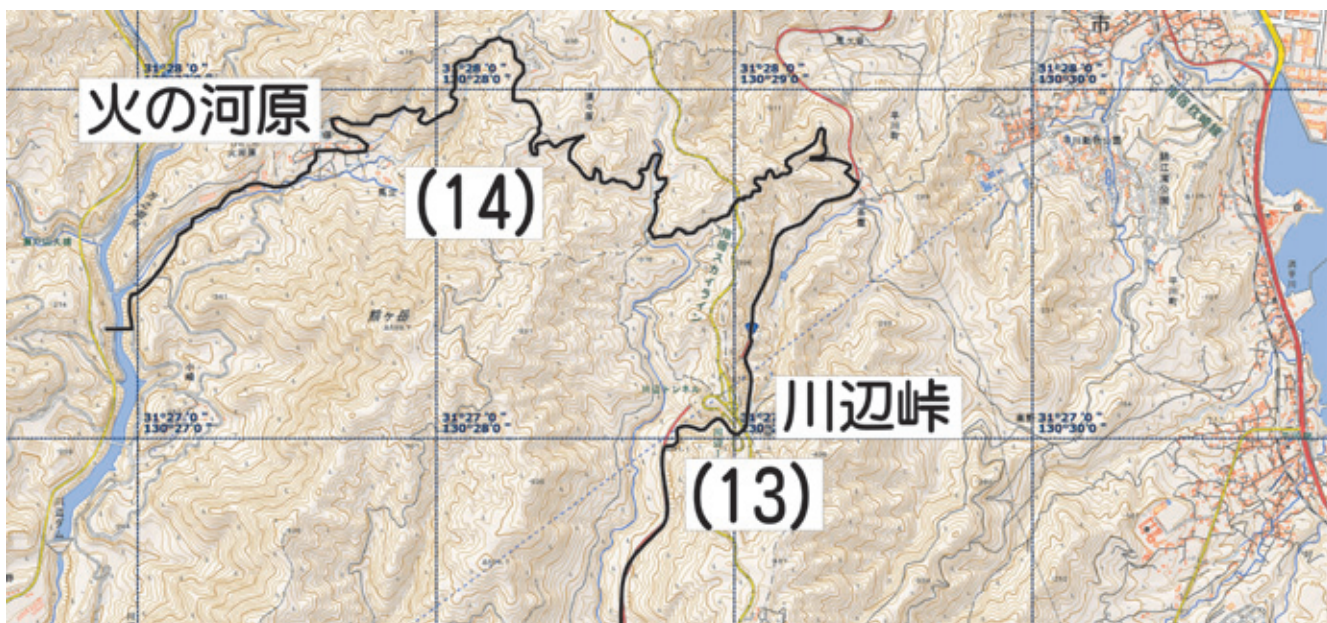


図4. 川辺地域の調査地 図2の説明と同様。

遭遇した。林床などで隠れるように生えている食餌植物を見逃し、食害を受けていないヤツデのみを観察した場合「この地域にはいない」という判断を下しかねない。

また、食害を受けたヤツデの葉のみで分布していると判断することはできない。それは近縁種のセンノキカミキリがこの地域には分布しており、本種の食害と区別出来ないからである。

今回の報告で採集出来たのは2地域4カ所だが、見つからなかった調査地点にはいないと判断することは早

計である。今後調査の精度を上げていくためには

- (1) 観察の人数、回数を増やして、見落としが無いようにする
- (2) 灯火採集など他の手法も併用する

などの手立てが必要であろう。

外来種として鹿児島県に侵入した本種が、今後分布地域を広げていくのか、あるいは気候や環境の変動について行けず絶滅するのか、継続して観察する必要があるだろう。



図5. 本種がいた環境

知覧カントリークラブ沿いの道路。カメラを向けているヤツデの葉に、複数個体があった。



図6. 食害を受けたヤツデの葉



図7. 野外で観察した本種
知覧カントリークラブ沿いの道路。



図8. 複数個体で食餌植物を加害する



図9. 標本化したオキナワキンケビロウドカミキリ

引用・参考文献

- 横原 寛(2007)キンケビロウドカミキリ. 日本産カミキリムシ(大林延夫・新里達也 共編), 587-588. 東海大学出版会, 神奈川県.
- 大坪博文(2013)オキナワキンケビロウドカミキリを薩摩半島で採集. *Satsuma* (149): 64.